



日本精密株式会社

CODE : 7771

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

2020年11月19日



世界の先を
ひらいて

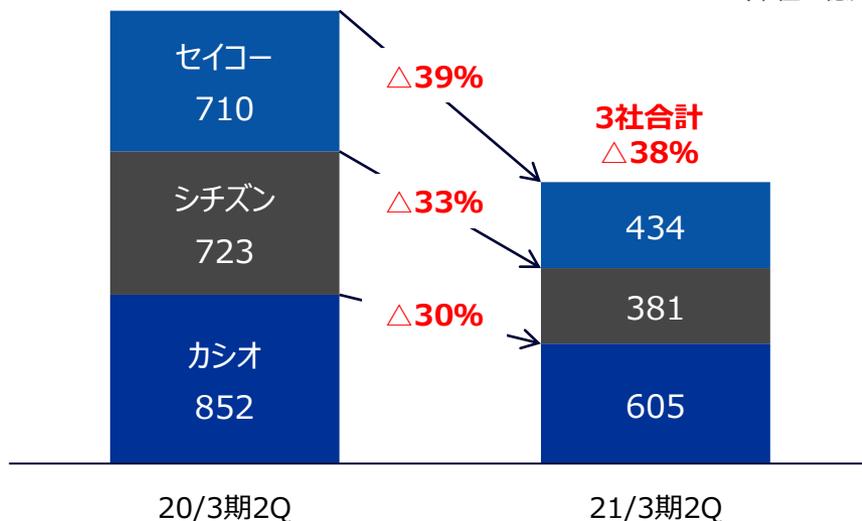
時計・メガネともに新型コロナウイルス感染症の影響により低迷

- ◆ 世界各地で段階的な経済活動再開の兆しはあるものの、第二、第三波の発生リスクが懸念されており、マクロ環境としては、先行き不透明な状況が継続
- ◆ 主要事業である時計事業においては、主要得意先であるカシオをはじめとした国内主要時計メーカーの第2四半期売上高（時計事業）は第1四半期からやや持ち直してはいるものの前期比約38減と大きく落ち込んでいる。
- ◆ 眼鏡フレーム事業は、需要回復の兆しはみられるものの、コロナウイルスによる影響は継続

《ご参考》

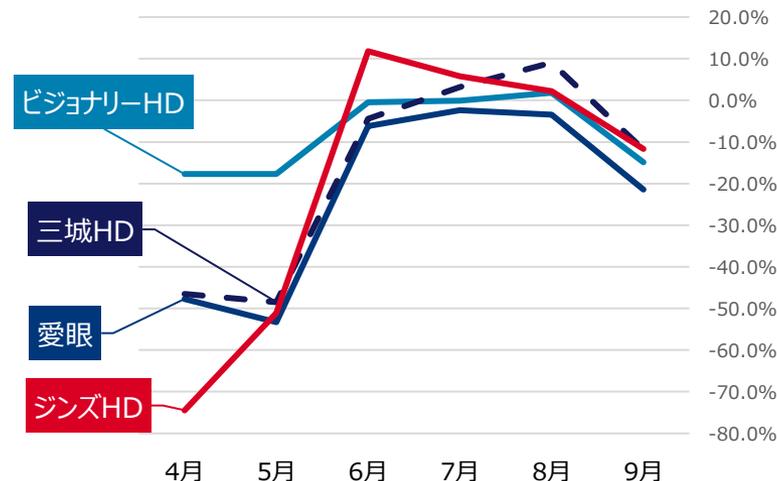
国内主要時計メーカー 時計事業売上高前期比較

(単位：億円)



出所：各社決算説明資料より当社作成

眼鏡小売店既存店販売額前年比較



出所：各社月次速報資料より当社作成

新型コロナウイルス感染症の影響が想定を上回る 受注量の増減に柔軟に対応できる機動的な生産体制の構築を急ぐ

【全社】

- メイン工場であるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.を中心に製造部門におけるコスト削減は計画通りに進捗。
- 主力である時計関連事業において新型コロナウイルス感染症の影響による売上高減少が予想以上に大きく、前年同期比40%の減収

【時計部門】

- 海外取引先は：在庫調整の長期化に加え、感染症の影響による受注減少などにより売上高は約40%の減少。
国内の取引先：新規ブランド製品の受注や回復傾向にある高付加価値製品の受注増加はあったが、感染症の影響により取引先には慎重な姿勢が見られ約53%の減収。時計外装部品も約54%減収。
時計部門全体：売上高は約49%の減収。

【メガネ部門】

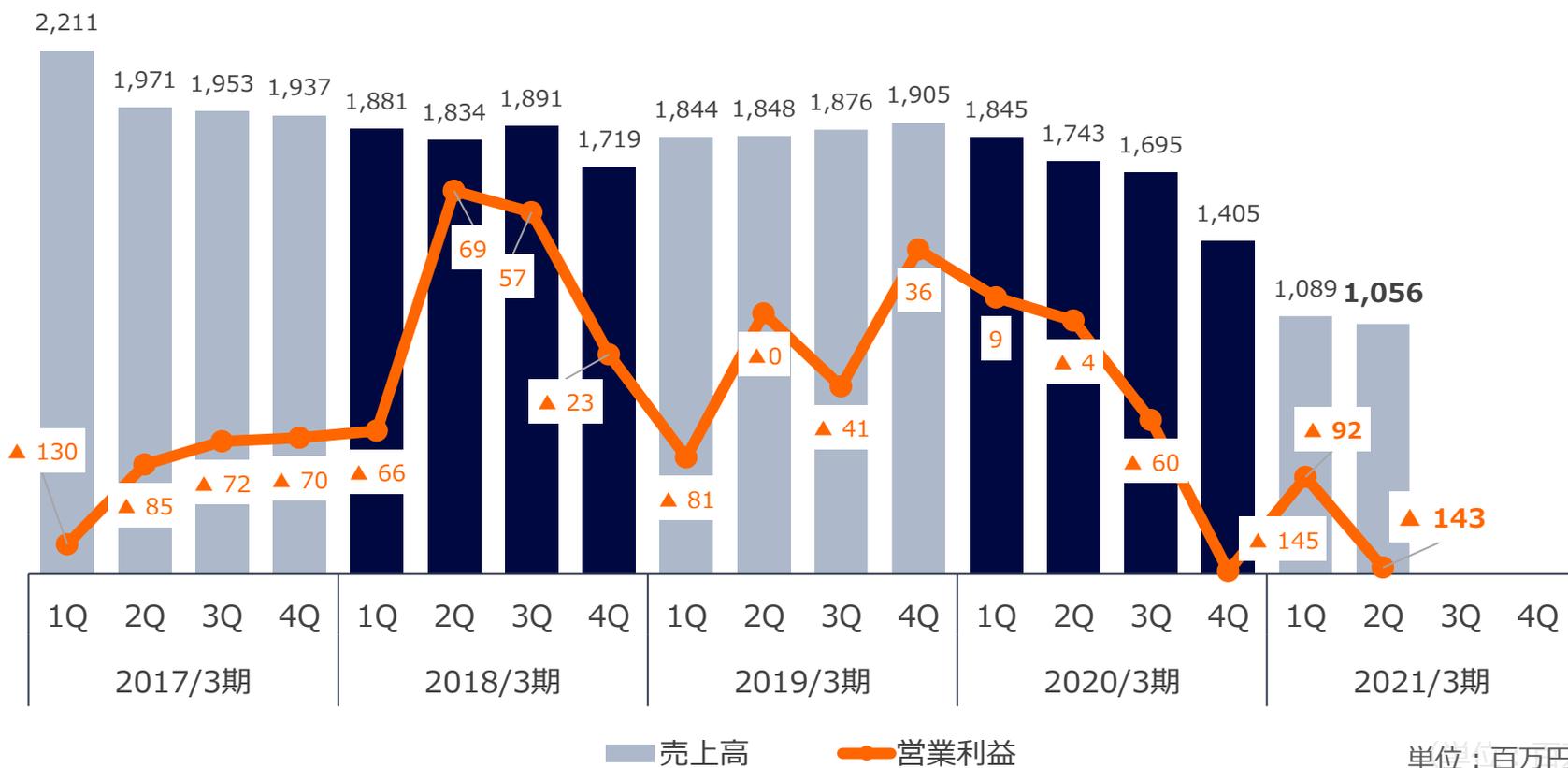
- 国内眼鏡市場の低迷は長期化しており減収。しかしながら、事業構造改革による販売管理費のコスト削減、訪問営業の自粛に対応した利益率の高いリモート営業やオンライン営業の強化などにより、損益分岐点が大きく改善。7年振りとなる黒字転換。

【その他（応用）部門】

- 新規受注製品としてウェアラブル関連は増加したが、感染症の影響などにより前期好調だった釣具用部品売上高が約7%の減少、健康器具などそのほかの製品の売上高も約32%減少。

四半期毎業績推移

新型コロナウイルスの影響によりすべてのセグメントで苦戦。特に主力の時計関連の落ち込みは想定以上で前期比49%減収となるなど大きく苦戦。第2四半期累計で前年同期比40%の減収。



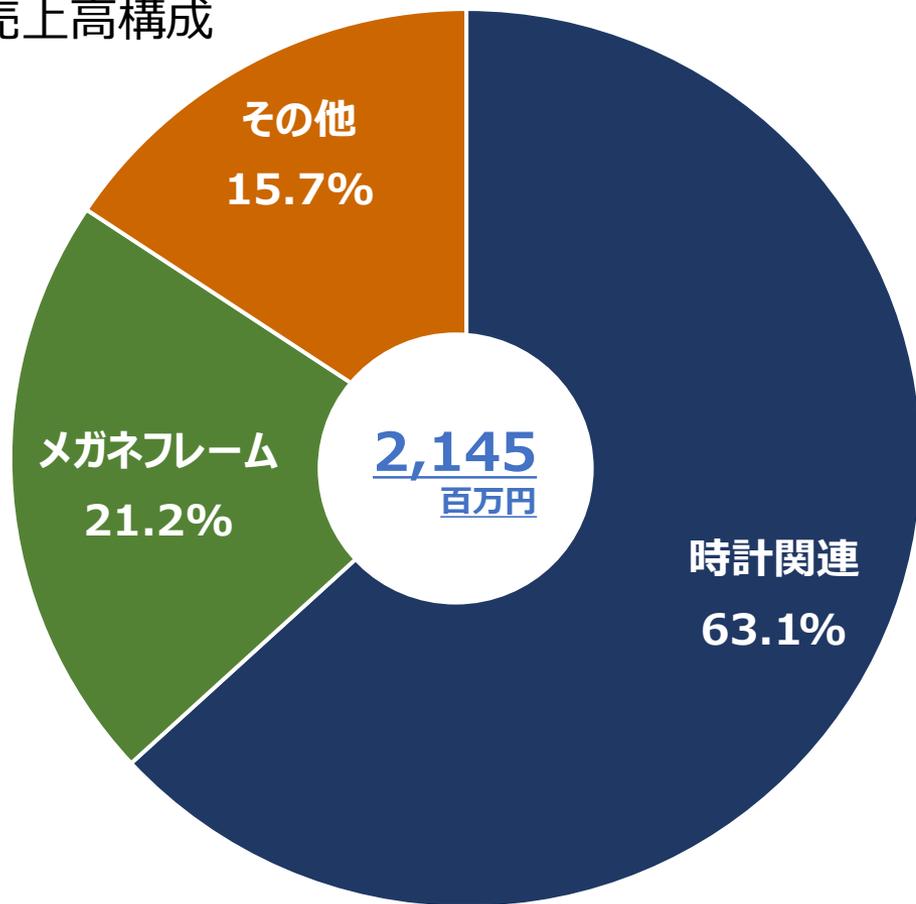
2021年3月期 2Q累計 連結業績 (前年同期比較)



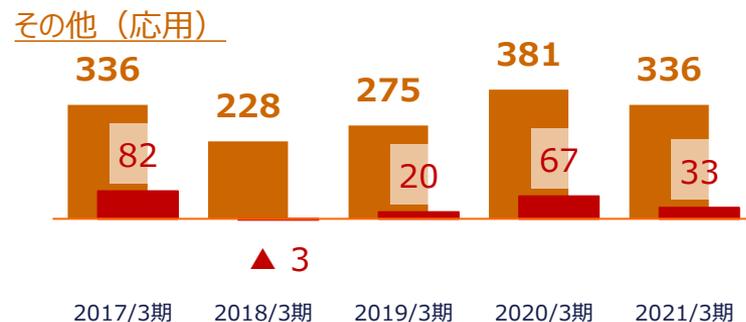
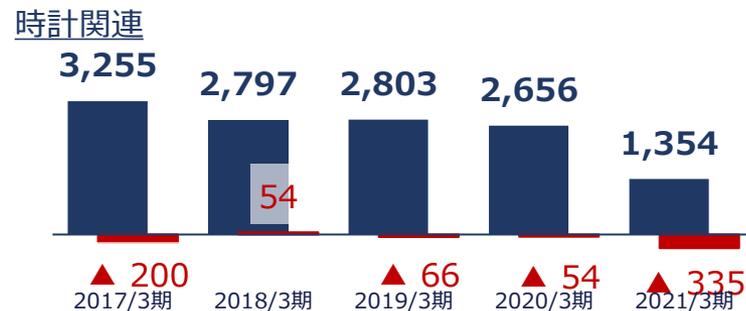
	2021年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	2,145	3,588	△1,442	△40.2%
売上総利益	341	756	△414	△54.8%
販売費及び 一般管理費	578	751	△172	△23.0%
営業利益	△236	5	△241	-
	【営業外費用】 為替差損：98百万円			
経常利益	△339	△149	△190	-
	【特別損失】 事業構造改善費用：50百万円			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△397	△170	△227	-

報告セグメントの状況

2021年3月期2Q累計
売上高構成



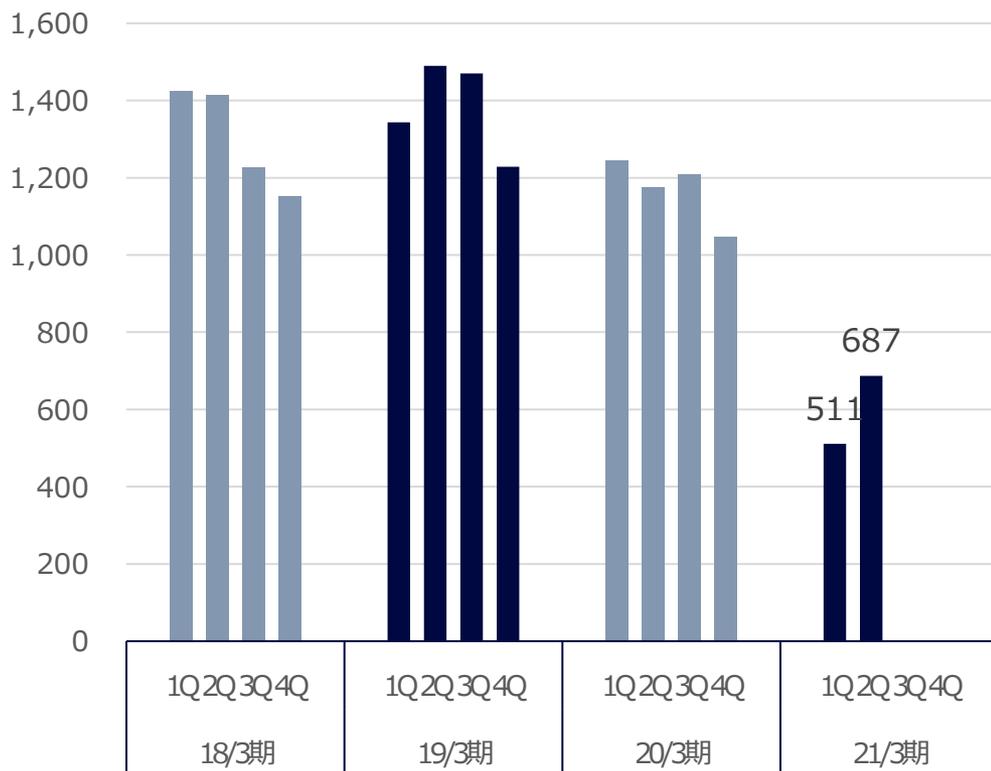
2Q累計売上高・セグメント損益の推移



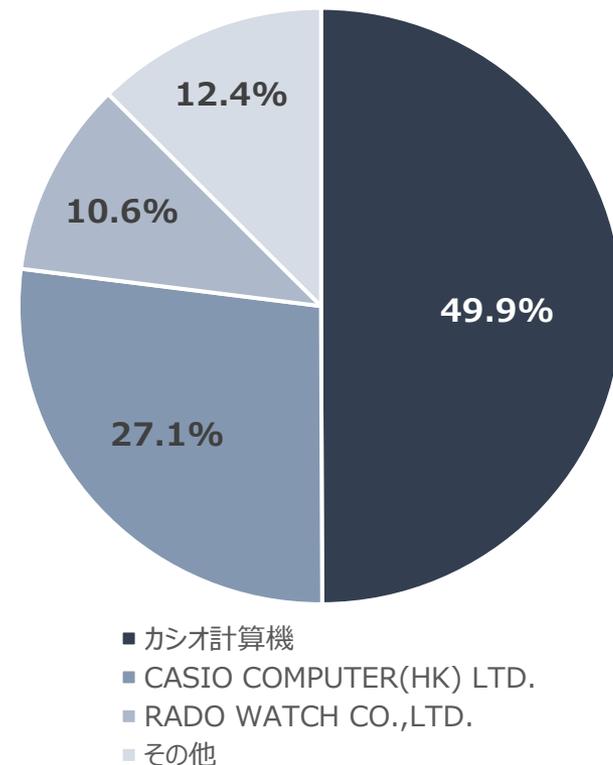
時計部門 下期以降の受注回復に期待

新型コロナウイルス感染症の影響により想定以上の落ち込み

受注高四半期推移



主要販売先割合



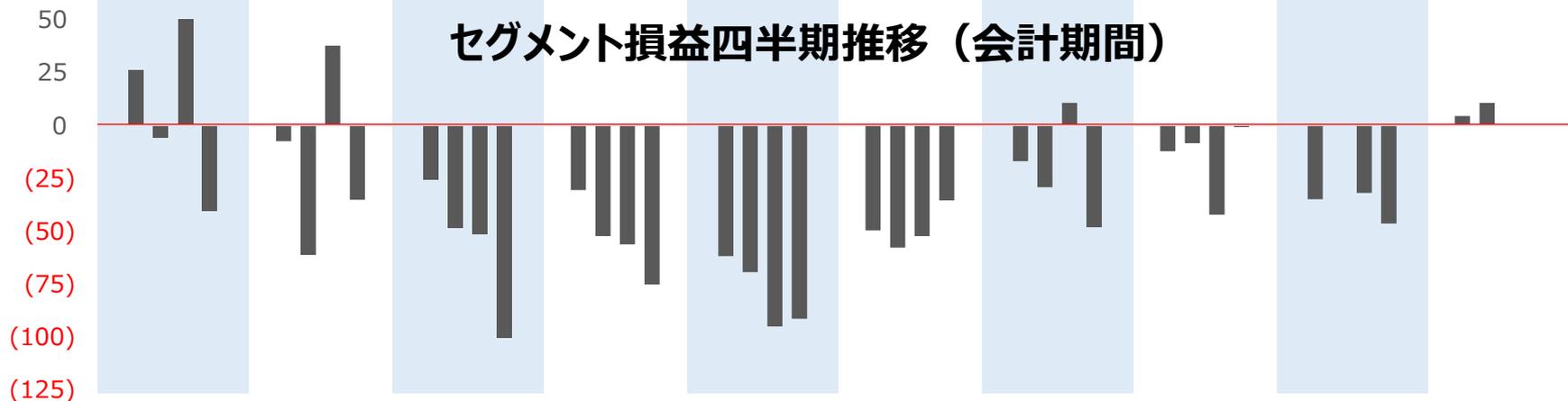
メガネ部門 構造改革により利益のなる体質に

《事業構造改革進行中》 上期は9年ぶりに黒字を確保

セグメント損益四半期推移（累計期間）



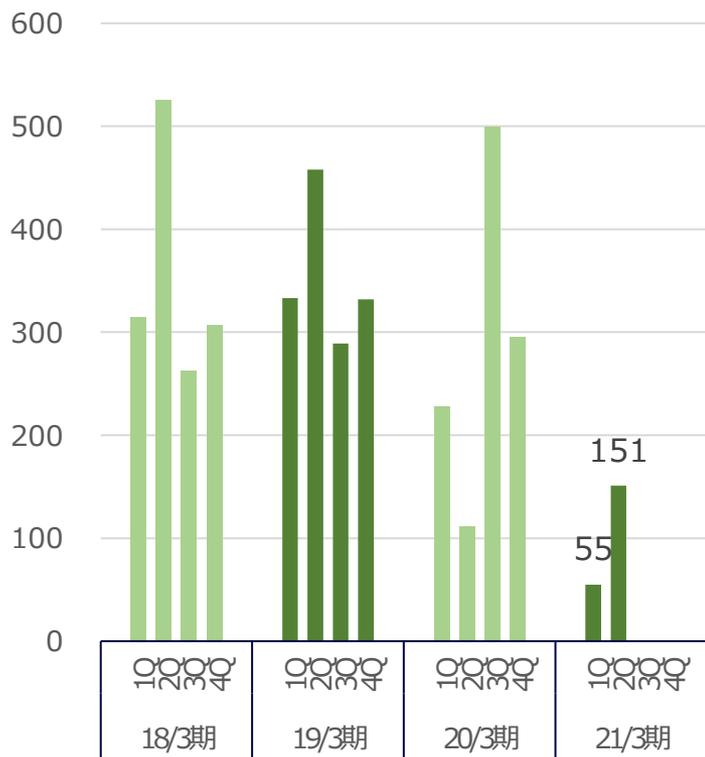
セグメント損益四半期推移（会計期間）



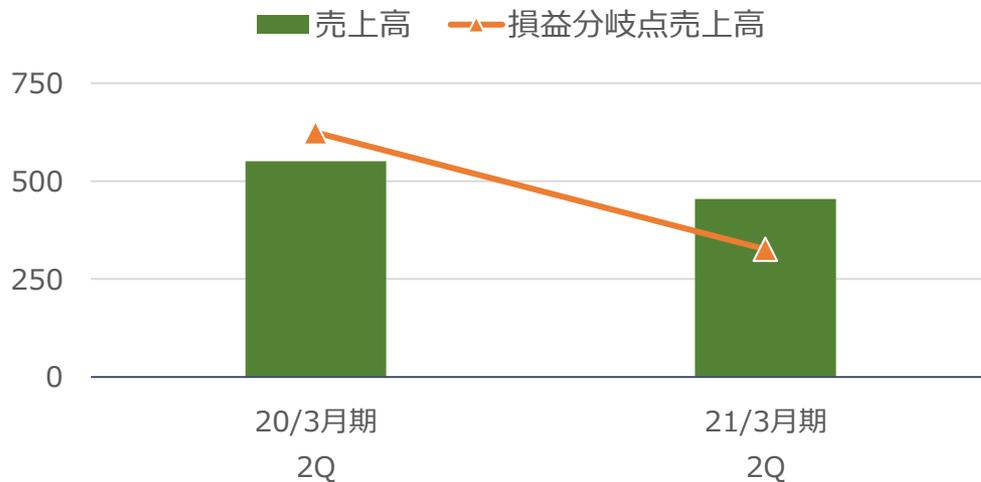
メガネ部門 黒字化への取組

DXの推進により損益分岐点が低下

受注高四半期推移



売上高と損益分岐点推移



【メガネフレーム部門（株式会社村井）の取組】

- 頻度の高い海外（香港）とのミーティングにwebを活用するなどDXを推進

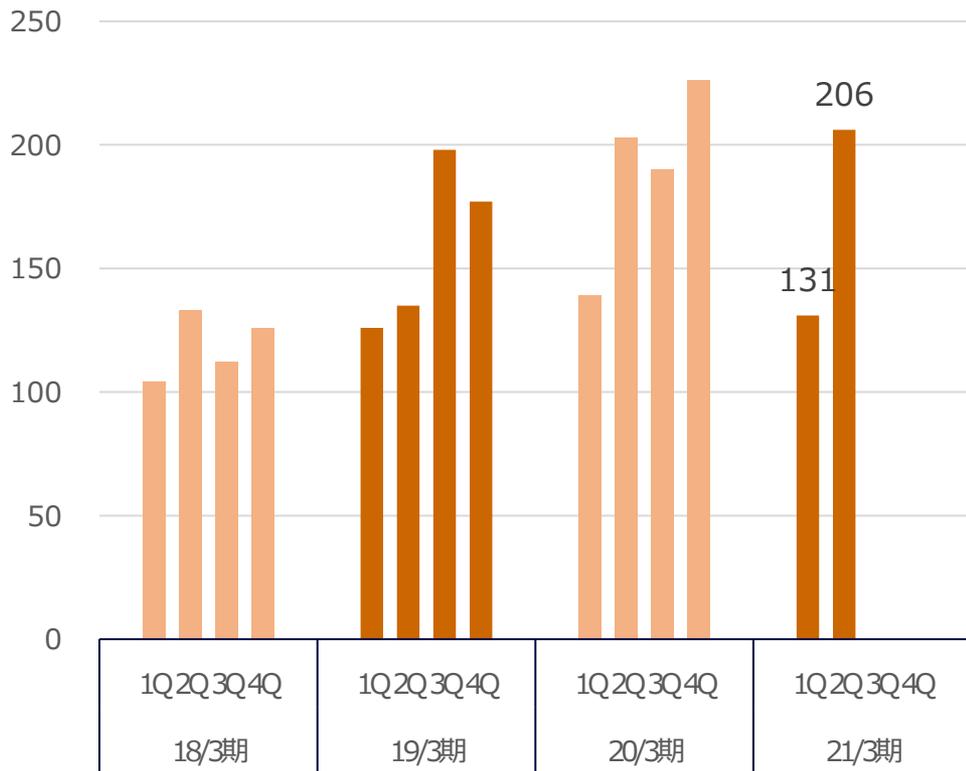


- 人員配置の最適化を実施

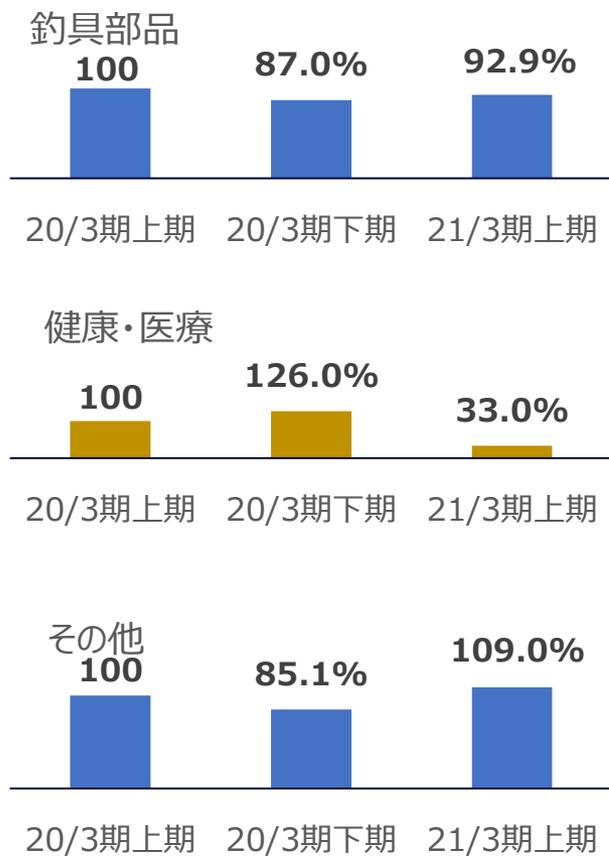
その他（応用）部門

小ロットながら幅広い分野で実績 売上高は初の7億円台

受注高四半期推移

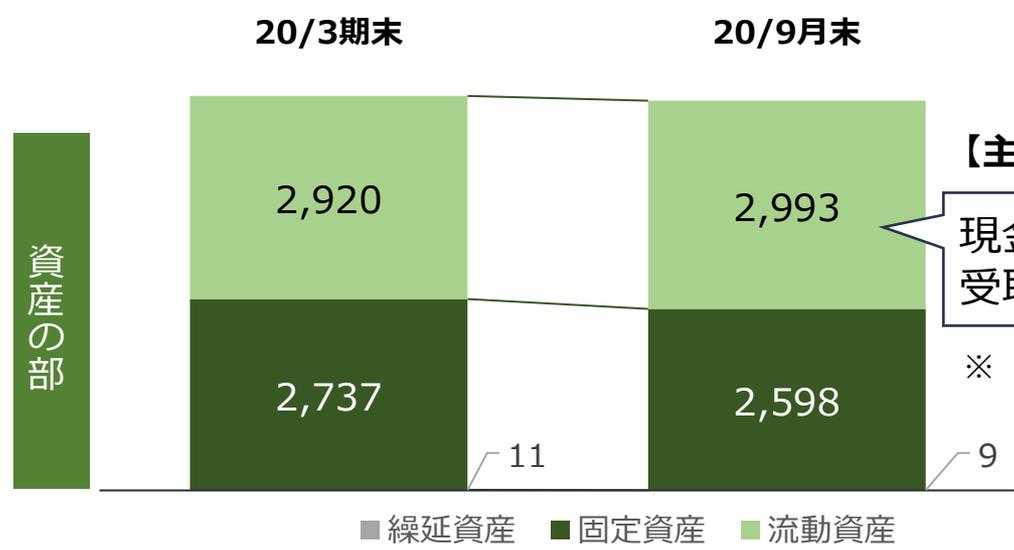


アイテム別半期毎推移



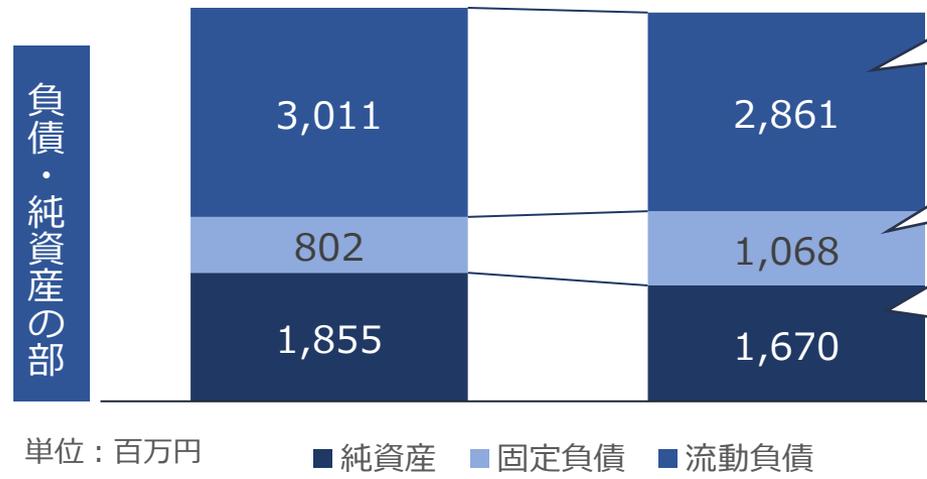
B/Sの状況 (連結)

自己資本比率：29.3%



【主な増減要因】
 現金及び預金：314百万円増加※
 受取手形及び売掛金：243百万円減少

※ 新型コロナウイルス感染症対策の借入金及び第三者割当増資



1年内返済予定の長期借入金：85百万円増加
 支払手形及び買掛金：313百万円減少

長期借入金：280百万円増加

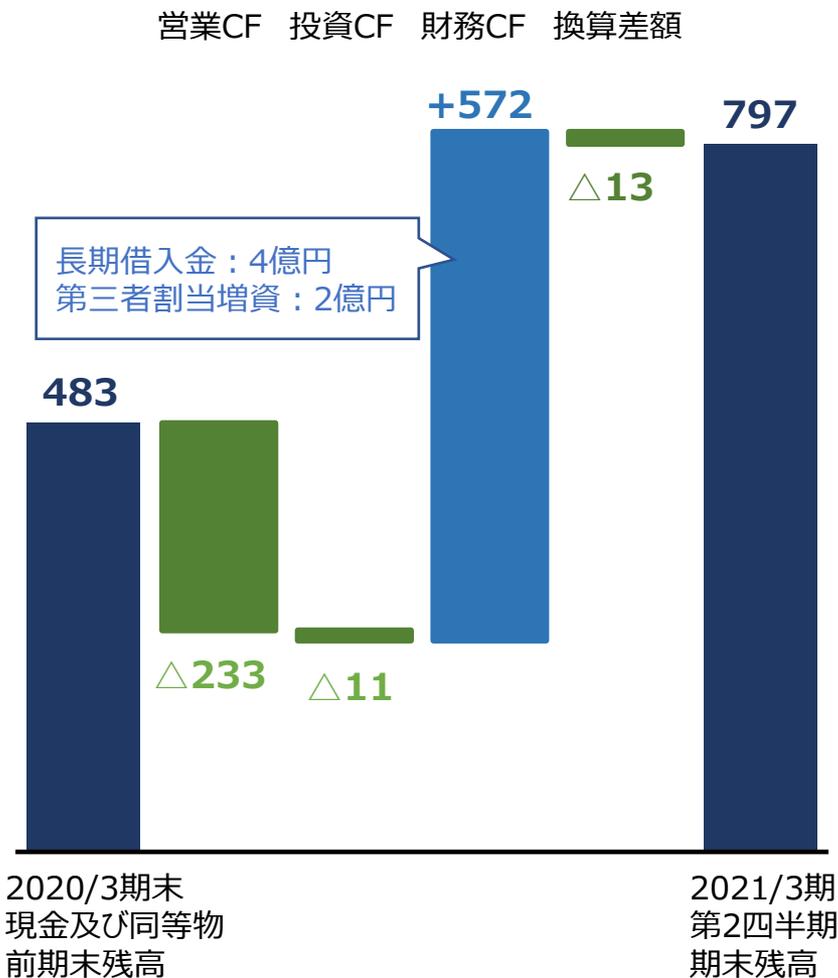
資本金：100百万円増加
 資本剰余金：100百万円増加
 親会社に帰属する当期純損失：397百万円計上

単位：百万円 ■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

CFの状況 (連結)

【2020年3月期末比較】

単位：百万円



【2020年3月期 2Q 比較】

単位：百万円	2021/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計
営業キャッシュ・フロー	△233	110
税前四半期純損益	△389	△164
減価償却費	109	126
為替差損益（△は益）	71	63
売上債権の増減額	237	△21
たな卸資産の増減額	29	82
仕入債務の増減額	△312	34
その他	100	△287
小計	△152	181
利息及び配当金の受取・支払額	△25	△36
法人税等の支払額	△11	△34
その他	△44	△34
投資キャッシュ・フロー	△11	111
フリー・キャッシュ・フロー	△244	221
財務キャッシュ・フロー	572	△235
現金及び現金同等物期末残高	797	382

業績予想について

【2021年3月期通期見通しについて】

欧州を中心に世界規模的に新型コロナウイルスの感染者拡大に収束が見られない中、現時点では新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから、業績予想を未定とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

【ASEAN Project IIについて】

事業の方向性に変更はありませんが、欧州を中心に世界規模的に新型コロナウイルスの感染者拡大に収束が見られない中、現時点では新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから、業績目標は白紙といたします。

今後、新たな定量目標を策定次第、改めて公表させていただきます。

欧州では新型コロナウイルスの感染者数拡大が過去最悪のペースになるなど、収束が見えない中、コロナ禍が長期化する前提で対応

コロナ禍への対応

コスト削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナウイルスによる減収影響を踏まえ、追加的なコスト削減を実施 ● 受注見通しに応じて、人員・コスト計画を機動的に修正
棚卸資産の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 在庫管理体制の見直し ● 運転資本圧縮によるキャッシュフローの改善を図る
ビジネス構造改革	<ul style="list-style-type: none"> ● 外注政策の体制を整備。設備投資負担、在庫リスクを極小化し、キャッシュフローの安定化に努める ● NC/NCM※の合併（現在進行中）により、更なるコストの効率化を図る
余剰資産の売却	<ul style="list-style-type: none"> ● 売却可能資産（不動産、設備）の見直しを再度行い、資産効率を高める

NC : NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

NCM : NISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD.

肌に優しい金属加工技術

APPENDIX

会社概要 (2020年9月末)



社名	日本精密株式会社 (NihonSeimitsuCo.,Ltd.)
住所	埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階
設立	1978年8月
上場	東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
代表取締役	井藤 秀雄
事業内容	時計バンド及び時計関連部品の製造、販売、メガネフレームの製造、販売、イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
連結子会社	5社、関係会社2社
従業員	2,311名 (連結)
決算	3月
資本金	2,018百万円
発行株式数	22,238,299株
株主数	3,295名



代表取締役社長 井藤 秀雄

2001年8月 当社 入社
2007年7月 当社 上席執行役員
2008年12月 当社 常務執行役員
2009年6月 当社 取締役常務執行役員
2018年6月 当社 代表取締役社長 (現任)
(株) 村井 代表取締役 (現任)

【その他】

'18 音響用部品供給
'17 コラントツテ
'98 釣具用プレス部品
'97 OA機器部品及び自動車用プレス部品

精密金属加工技術を仕事や生活のあらゆるシーンへ展開

【メガネ】

'95 ドイツ・ヨーロッパ向けにOEM(チタニウム製)
'94 チタニウム製

時計の外装で培った技術を応用し付加価値の高い製品開発を実現

【時計】

'97 (スイス)RADOに超硬材(タンガステンカーバイド)素材の高級腕時計バンド
'95 (スイス)RADOに金無垢/セラミックス素材の高級腕時計バンド
'94 時計等装飾品のイオンプレーティング加工
'83 業界初の超硬セラミックス製・純チタニウム製時計バンドの製造・販売
'81 (スイス) RADO
'78 カシオ

ブランドストーリーやその魅力は、時計のフェイスのみならず、技術を施したバンドの存在なしには語れない

- ブランドキャラクターを表現する技術
- 一貫生産体制で低コスト

1978年～

1990年～

2000年～

2010年～

2020年～

'18 ASEAN Project II期

'17 カンボジアにNISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD.
(時計外装部品等の生産拠点)

生産能力拡大
新事業領域へ

'13 ASEAN Project I期

'13 カンボジアにNISSEY CAMBODIA CO.,LTD.
(時計外装部品等の生産拠点)

地域連携
一貫した製造体制

'04 東証ジャスダック上場

'01 NISSEY VIETNAMにイオンプレーティング加工を移管

'00 NISSEY VIETNAM ISO9001認証取得、新工場竣工、時計バンド、応用品、スポーツ用品生産開始

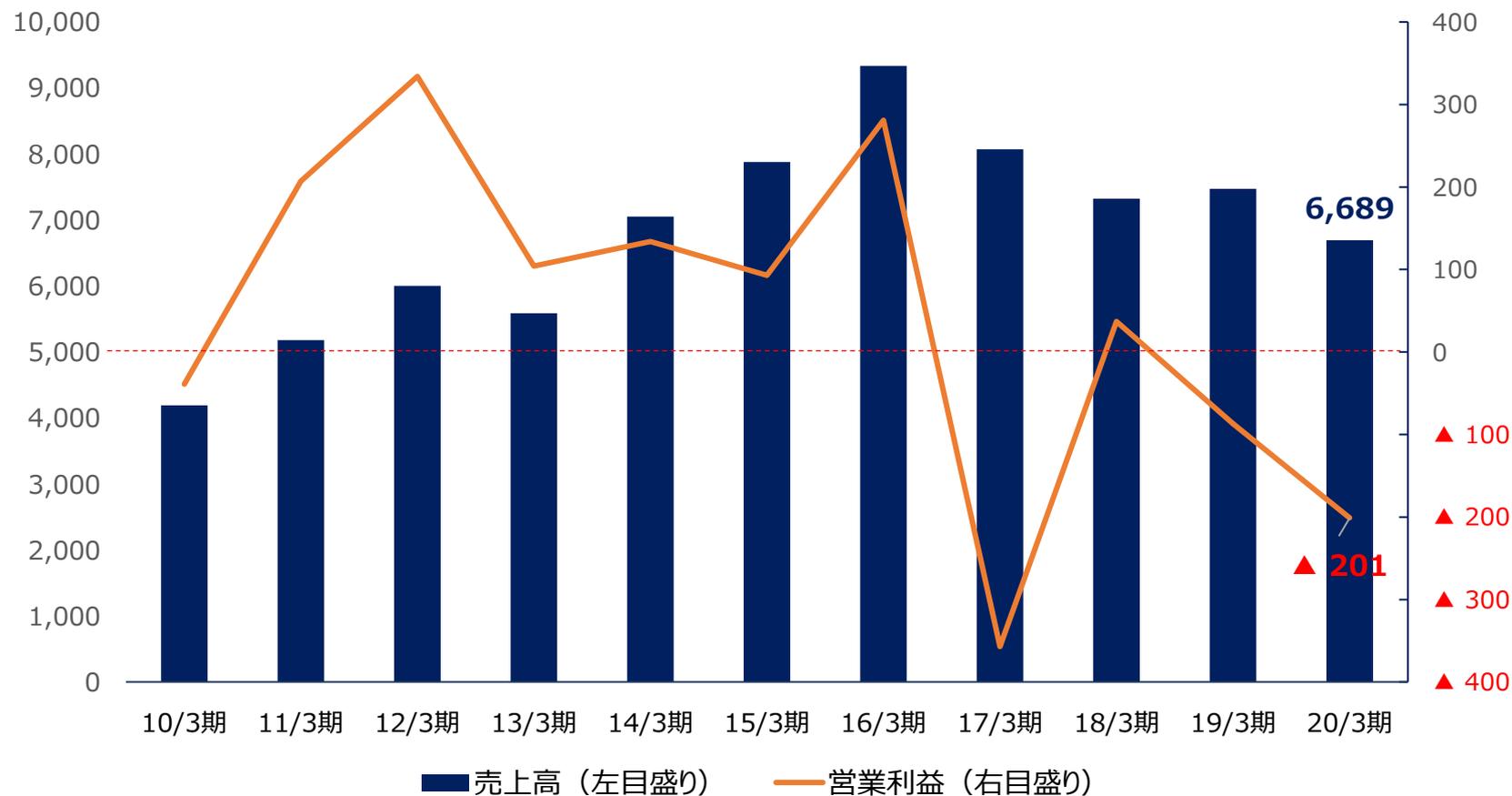
'97 販路拡大のために香港九龍に香港支社を設置 (国内時計メーカーが香港シフト)

'95 埼玉県川口市に本社移転

'94 ベトナムにNISSEY VIETNAM CO.,LTD.を設立 (メガネフレームの生産)

'78 設立 (秩父小鹿野)

過去からの業績推移



単位：百万円

生産・開発拠点

ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



本社（埼玉県川口市）

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井：連結子会社

エヌエスジー(株)：連結子会社

香港支店

ベトナム、カンボジアで製造未対応の部品を低コストで中国より調達。営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造
- ◎ メガネフレームの製造
- ◎ 釣り具部品等の製造 他

高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造

普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、一大サプライチェーンを構築

NISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD.

- ◎ 腕時計バンド（ステンレス無垢バンド）の製造

合併手続き中

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.とNISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD. を合併し、作業品質の更なる向上と業務効率化を推進。



日本精密株式会社

手のひらロマンで世界を刻む

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2020年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

コーポレートスローガン

『手のひらロマンで世界を刻む』

手のひらロマンで世界を刻む

キャッチフレーズ

『肌に優しい金属加工技術』

肌に優しい金属加工技術